

2018年2月28日

宿泊業における今後のターゲット設定の考察

関茂 拓也

要旨

観光産業にとって重要なマーケットである「インバウンド観光客」の今後の動向を探るために、JNTO発表のデータを整理し、京都市やホテルがターゲットとすべき国や地域を抽出し検討した。

結果として、今後数年は中国をメインターゲットとして各施策を実施していくべき、という結論に達した。

i n d e x

- 1.リサーチクエスチョン (P4)
- 2.訪日外国人の状況 (P5,6)
- 3.人口ボーナス期の到来時期 (P7)
- 4.訪日外国人のデータ抽出 (P9~13)
- 5.中国人観光客の取り込み施策の検討 (P15~19)
- 6.外国人スタッフの生の声 (P20~22)
- 7.まとめ (P23)

リサーチクエスチョン

今後のインバウンドマーケットは
中国をメインターゲットと考えると問題ないか？
また、その「目的」や「興味をもつ内容」は
中国と台湾では違うのか？

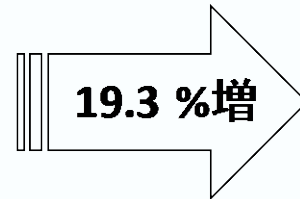
【背景】

- 宿泊業は、客室や料飲施設の改装などの設備投資負担が重く、長期的視点に立って投資計画をたてる必要がある。
（利益率が低く、頻繁な改装は不可能。）
- 中国、台湾、韓国、香港からの訪日外国人客が2017年実績で**全体の74.2%**を占めている状況であり（2018年1月16日JNTO）ここ数年安定して伸びているが、各国の状況も含め検証し今後のターゲットを決定したい。

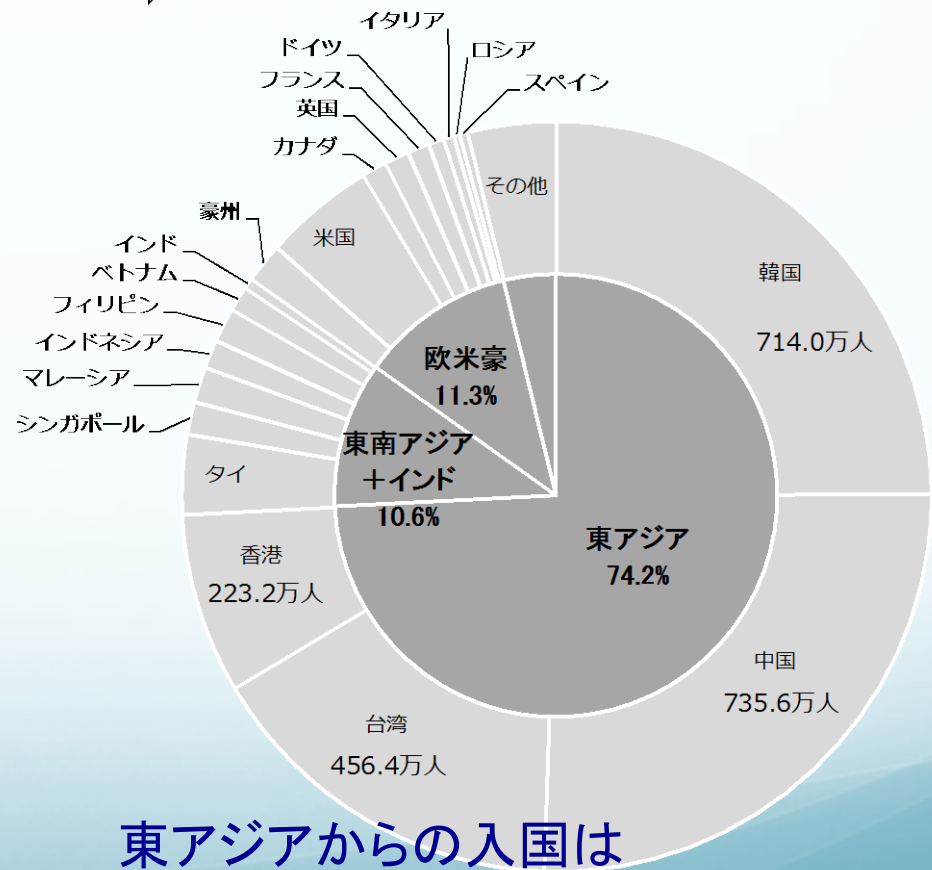
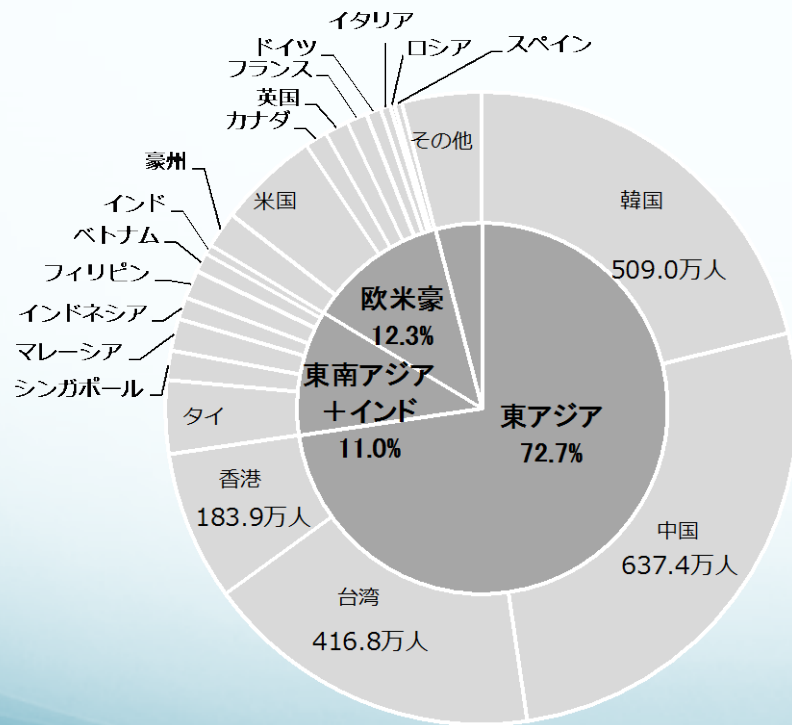
上記を目的に、中期的な戦略を構築するための考察を行った。

訪日外客数のシェアの比較 2016年/2017年

2016年1月～12月
2404万人

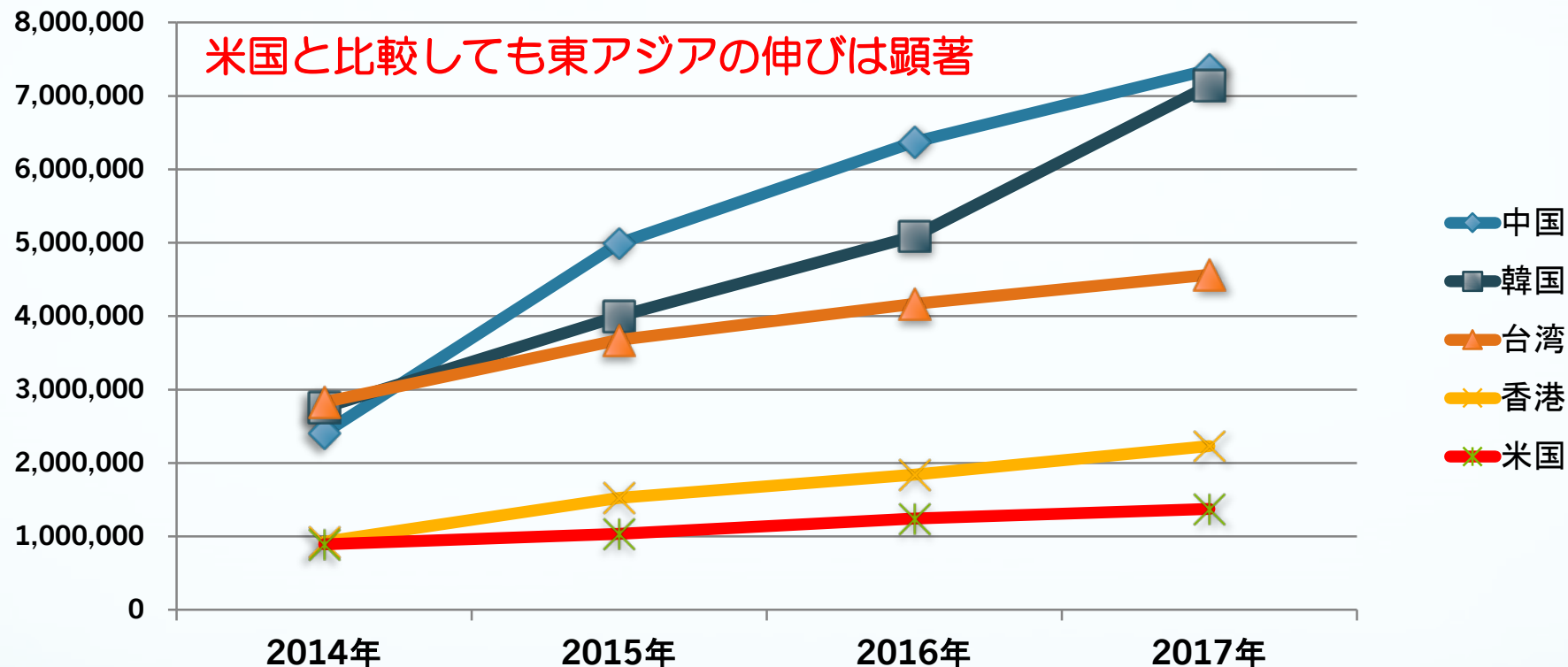


2017年1月～12月
2869万1千人



東アジアからの入国は
全体を上回るペースで増加(21.8%増)

過去4年の訪日上位5ヶ国の入国状況



	2014年	2015年	2016年	2017年
中国	2,409,158	4,993,689	6,373,564	7,355,800
韓国	2,755,313	4,002,095	5,090,302	7,140,200
台湾	2,829,821	3,677,075	4,167,504	4,564,100
香港	925,975	1,524,292	1,839,193	2,231,500
米国	891,668	1,033,258	1,242,719	1,375,000

海外旅行者数増加の前提となる、各国の成長の可能性として 人口の増加を確認する

【人口ボーナス期】の到来時期

各国の人口ボーナス指数の推移（予測含む）

出所：国連、総務省、国立社会保障・人口問題研究所のデータよりニッセイアセットマネジメントが作成（2012年11月15日号）

	1980年	1990年	2000年	2005年	2010年	2025年	2050年
ドイツ	193	223	213	202	194	167	128
中国	148	201	214	241	257	216	156
ロシア	213	204	229	246	264	211	158
インド	133	140	153	163	178	208	206
ブラジル	137	152	182	194	199	205	170
マレーシア	133	143	168	180	194	210	189
インドネシア	128	153	184	195	206	231	178
フィリピン	116	127	142	150	159	192	207
米国	197	194	195	202	204	173	161

※人口ボーナス期・人口オーナス期・・・生産年齢人口（15～65才）を従属人口（年少者、高齢者）で割った指数が200を上回る期間を人口ボーナス期という。その逆が人口オーナス期。

以上を踏まえ、現在の訪日外国人人数上位5ヶ国と今後成長が見込まれる4ヶ国を検証対象とする。

2016年 国別平均滞在日数を考慮した滞在人数

国名	訪日人数（人）	平均滞在日数（日）	延べ滞在人数（人）
中国	6,373,564	5.9	37,604,028
韓国	5,090,302	2.9	14,761,876
台湾	4,167,504	3.7	15,419,765
香港	1,839,193	4.3	7,908,530
米国	1,242,719	7.5	9,320,393
インドネシア	271,014	7.4	2,005,504
フィリピン	347,861	13.5	4,696,124
インド	122,939	9.8	1,204,802
ロシア	54,839	12.5	685,488

訪問者数、滞在日数ともに多い中国の数的インパクトが大きい。
韓国、台湾は、滞在日数が短いものの、大きな数字となっている。

2016年 国別京都訪問者数

国名	訪日人数（人）	京都訪問率	京都訪問者数推計（人）
中国	6,373,564	40.6%	2,587,667
韓国	5,090,302	16.5%	839,900
台湾	4,167,504	19.5%	812,663
香港	1,839,193	20.5%	377,035
米国	1,242,719	27.7%	344,233
インドネシア	271,014	30.6%	82,930
フィリピン	347,861	19.1%	66,441
インド	122,939	14.1%	17,334
ロシア	54,839	16.0%	8,774

国別の京都訪問者数は訪問率、実数ともに多い中国が圧倒的だが、訪問率の高いインドネシアが、今後の訪日者数増加と共に期待できる。

2016年 国別・年代別 訪日観光客比率

(%)

国名	20歳代女性	30歳代女性	20歳代男性	30歳代男性
中国	21.1	21.4	10.2	12.7
韓国	27.3	12.3	18.2	11.6
台湾	16.2	19.3	9.4	12.2
香港	16.8	15.3	9.9	11.7
米国	12.2	8.7	21.9	16.2
インドネシア	22.3	13.6	12.4	14.5
フィリピン	18.5	17.3	10.2	10.7
インド	6.2	9.5	13.3	21.4
ロシア	18.1	19.2	11.2	12.8

中国は、訪日観光客に占める若い女性の割合が高く、家族、友人との訪日も多いことから（家族47.3%、友人24.9%）、リピート・拡散が期待できる。

総人口に占める訪日人数の割合

国名	総人口（人）	訪日人数（人）	割合（％）
中国	1,382,710,000	6,373,564	0.46%
韓国	51,250,000	5,090,302	9.93%
台湾	23,540,000	4,167,504	17.70%
香港	7,370,000	1,839,193	24.96%
米国	323,300,000	1,242,719	0.38%
インドネシア	258,710,000	271,014	0.10%
フィリピン	104,200,000	347,861	0.33%
インド	1,309,350,000	122,939	0.01%
ロシア	143,440,000	54,839	0.04%

中国は多くの訪日客を供給しているとはいえ、まだ人口比では1%にも満たない。今後も経済発展と同時に拡大が期待できる。

訪日旅行者供給国としての中国

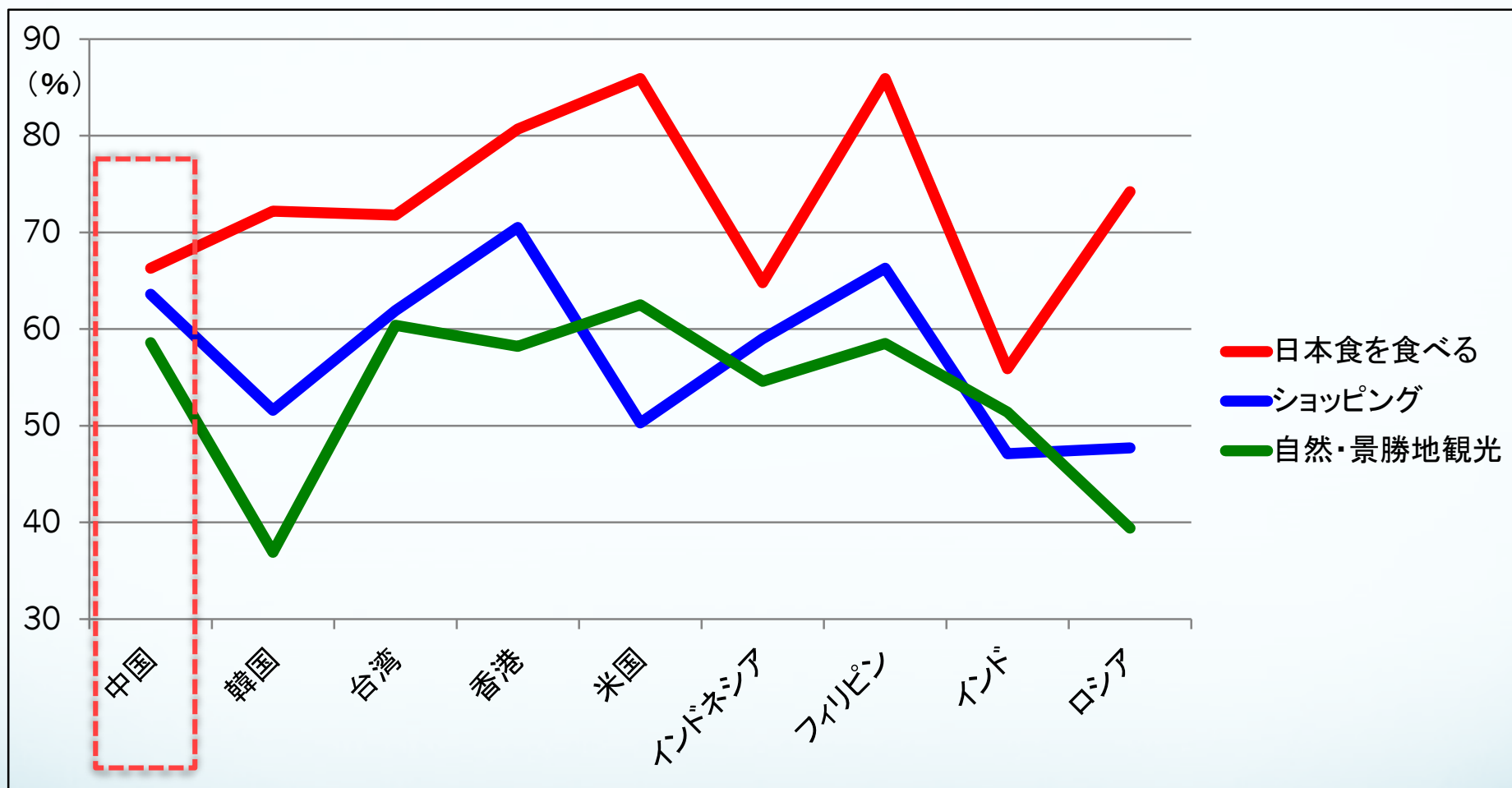
13億8千万人の人口を有し、2025年まで人口ボーナス期が継続。2014年より、207%、127%、115%と訪日旅行者数を伸ばしてきている。

滞在日数、京都訪問率も他のアジア各国と比較して高水準で訪日回数も初めてが66.7%いるため、今後のリピートも期待できる。20歳代、30歳代の若い女性層の訪日が多いことも、リピートにプラスに働くと想定する。

以上のことから、今後のインバウンドマーケットは**中国をメインターゲット**とし、インド、インドネシアなどの人口の多い国の対策も講じていく必要がある。

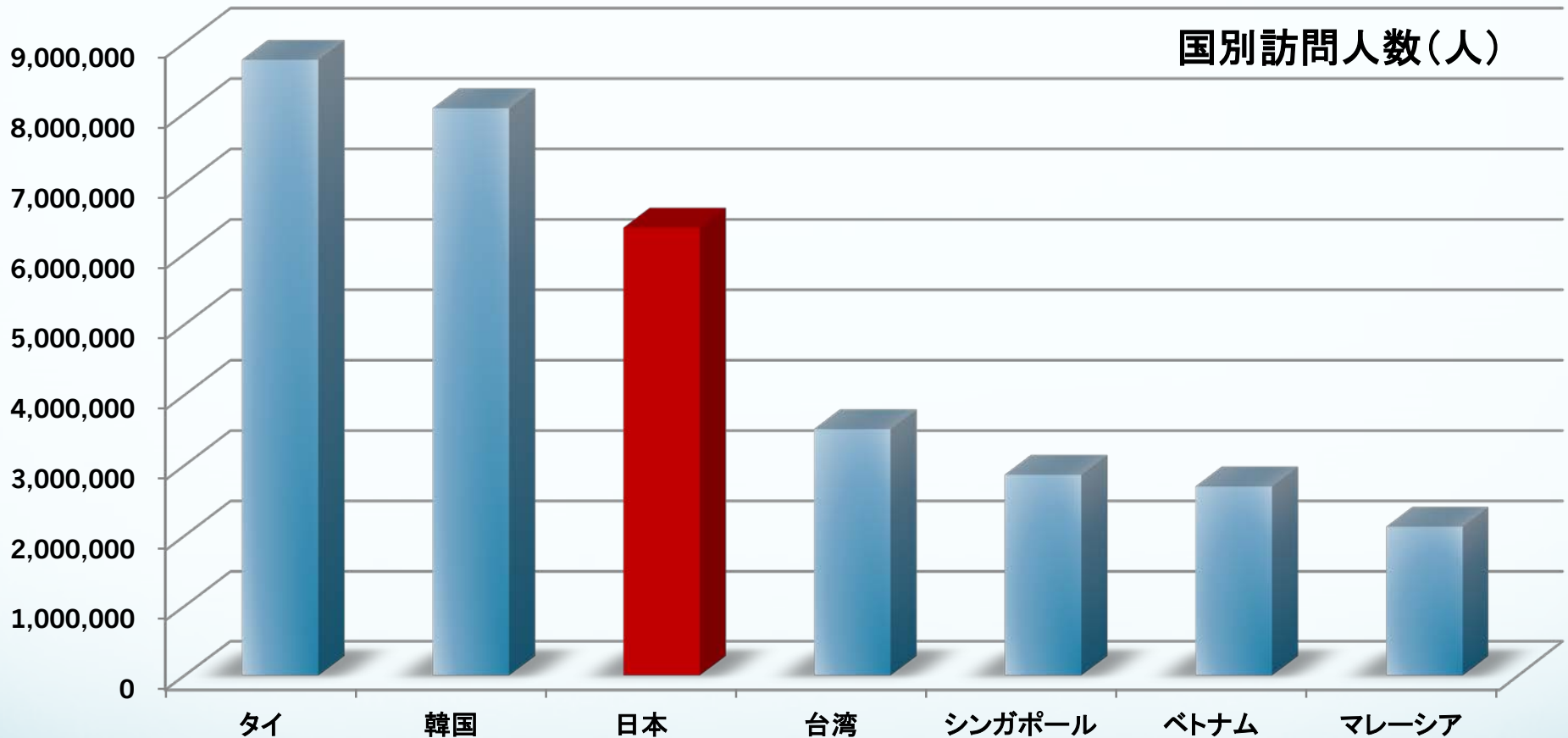
ここからは、中国人観光客をターゲットに
対策を検討する。

国別旅行の目的(出発前)



各国とも、日本食への期待が高いが、インド、インドネシアは相対的に低い。
(宗教的な制約もあるか) それでも、ショッピング、自然・景勝地観光よりも高く、2013年に和食が無形文化遺産に登録された影響もあり、日本食は今後、訪日旅行の目的のひとつとして期待できる。

中国人観光客の訪問先



日本への訪問は増えてはいるが、2016年においてはタイ、韓国よりも少ない。政治の影響を受ける国のため、2017年は韓国が大きく減少するなど不安定な要素もある。

中国人観光客の動き(予約手段、旅行形態、情報源) 〈台湾との比較〉

(%)

予約手段	中国	台湾
Web	52.2	54.1
店頭	45.4	40.8
電話など	2.4	5.0

旅行形態	中国	台湾
団体ツアー	45.1	36.0
個別手配	34.6	46.8
個人向けパッケージ	20.3	17.2

旅行情報源	中国	台湾
旅行会社Web	24.1	25.9
SNS	23.1	12.0
自国の親戚・知人	22.4	16.9
個人のブログ	20.5	41.9
日本政府観光局WEB	16.1	33.0

顕著に差があるのはWebメディアの使われ方。台湾では個人のブログが多いが中国ではどのメディアもまんべんなく見られている。

中国人観光客の訪日の目的

(%)

旅行に期待すること	中国	台湾
日本食を食べること	66.3	71.8
ショッピング	63.6	61.9
自然・景勝地観光	58.6	60.4
繁華街の街歩き	46.1	49.0
温泉入浴	40.4	33.4
旅館に宿泊	30.8	31.4

中国、台湾で大きな差はなく、温泉が7 p t 高い程度。
中国人スタッフの声からも、感覚的に日本人の志向と近い。

訪日旅行をする中国人は、一定の富裕層に限られる

今回の日本のビザ発給要件の緩和は、主に資産要件に集中しており、有効期限3年のマルチビザの発給対象者は、以下の2つのグループに分けられる。

(1) 3年以内に日本への渡航歴がない、「十分な経済力を有する者とその家族」。申請人の年収制限は、20万元（約380万円）以上。これまでの25万元から5万元（約94万円）引き下げられた。

(2) ある一定の経済力を有し、過去3年以内に日本への短期的な渡航歴がある者とその家族。申請人の年収制限は10万元（約190万円）以上。

人民網日本語版 2015年01月28日17:20

外国人スタッフに聞いた生の声（ヒヤリング結果）

●日本で行きたい場所●

【台湾（台北）出身の20代女性Aさん】

1. 寺社巡り（清水寺、鞍馬寺、三千院、貴船神社など）
2. ショッピング（商店街、お土産屋など）
3. カフェorスイーツ巡り（動物カフェ、抹茶パフェなど）

【台湾（台北）出身の20代女性Bさん】

1. 世界遺産（清水など）
2. 遊園地（USJなど）
3. 居酒屋（和民など）

【中国（西安）出身の20代女性Cさん】

1. 世界遺産（金閣寺、清水寺、嵐山など）
2. 伏見稻荷、八坂神社（映画のロケ地）
3. 大阪（買い物）

外国人スタッフに聞いた生の声（ヒヤリング結果）

●日本で体験したい事●

【台湾（台北）出身の20代女性Aさん】

1. 花見をする
2. 着物を着る
3. 抹茶作り

【台湾（台北）出身の20代女性Bさん】

1. 着物を着る
2. 華道
3. 相撲観戦

【中国（西安）出身の20代女性Cさん】

1. 着物を着る
2. アニメショップ（コスプレしての撮影）
3. 和食（寿司、ラーメンなど）

外国人スタッフに聞いた生の声（ヒヤリング結果）

（台湾人Aさんコメント）

日本は町がとてもきれいで、看板が少なく、古い町があり台湾の人にとって、日本は素晴らしい所です。

それに四季がはっきりしています。春は桜が咲きます。夏の新緑も秋の紅葉もとてもきれいです。雪の景色は台湾人にとって珍しい光景です。また日本のお寺は台湾と参拝方法が違って面白いです。食べ物についてはスイーツの種類が多くて、たくさん美しいケーキがあるので、日本に来て1つの楽しみになると思います。

（中国人Cさんコメント）

今は円安で日本での買い物は魅力的。化粧品や家電は中国よりも安く買える。中国人は、写真を撮るのが好きなので、有名な観光地や、まだ、あまり中国人が行っていない観光地に行って写真を撮り、それをSNSにアップしたい人が多い。中国では、ほぼキャッシュレスなので、日本では小銭を持っていないといけなの
が不便。今、日本に来ている中国人は富裕層が多い。

まとめ

中国人旅行者を獲得していくためには、SNSを含めたWebを活用していく必要がある。メディアよりも親戚・友人の声を聞く傾向もあるため、訪日旅行者の満足度を上げていく施策も必要。台湾人と違い、**中国の富裕層が来ている**、という認識を持って接遇し、リピートやクチコミを促す施策も必要。

また、他の国と同様、今後団体旅行から個人旅行に遷移していくのに合わせたセールス活動やプロモーション活動が必要である。